

平成 30 年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
家庭	ファッション造形基礎	2	3-4

1. 学習の到達目標

- ・被服構成の基礎、被服材料の特徴などに関する知識を理解させ、被服を製作する能力と態度を育てる。
- ・和服と洋服をその時代の社会的背景と関連させて考えさせ、歴史服、民族服について理解させる。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	(実習) 縫製の基本練習 3章 衣服の素材 1. 衣服素材の種類 (実習) 被服製作・浴衣	・裁断の仕方、ミシンの使い方を復習する。 ・衣服素材について理解し日常の衣生活に役立つようにする。 ・浴衣の構成を理解し、洋服との違いを理解する。
2 学 期	(実習)被服製作・浴衣 作品完成 提出 2. 衣服素材の性能 (実習) かぎ針編み 基礎編み アクリルたわし 提出 マフラー製作	・平面構成、立体構成を理解させ、歴史服・民族服についてふれ、衣服と人権とのかかわりを認識する。 ・かぎ針の基本的な編み方を理解させ、技術を身に付ける。
3 学 期	作品完成 提出	

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	提出物、授業態度等による。
------	---------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	被服に関する諸問題について関心をもち、その改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	被服生活に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する。	被服に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	被服に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、家庭生活の意義や、役割を理解している。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	ファッション造形基礎 (実教出版)
副教材	